



相続税の申告をするときには、亡くなった方の略歴等を記載する書類を提出します。これは一言で言えば、履歴書と同じようなものです。特に決められたフォームはなく、各税務署で独自に作成しているようですが、概ね以下のようなことを記載することになります。

①出身地②最終学歴③職歴④賞罰⑤住所の移転状況⑥病気の療養内容⑦死亡原因や死亡場所⑧趣味。ほとんどの項目に年月日が必要です。

一見どうということのない簡単な書類ですが、税務署は資産状況を分析するデータとしてかなり重視しています。職歴からその方の人生の稼ぎ高を推定したり、病気の療養の仕方では医療費を割り出したりします。また、趣味を聞くことで、残したであろう財産の種類を推し量ったりもします。例えば、「趣味書画骨董の収集と書いてあるのに、相続税の申告には書画も骨董も出てこないのはおかしいぞ」というような使い方をします。「自宅の居間は情報の宝庫」(73頁参照)と言うのと似ていますね。

さて皆さん方は、自分のお父さんの人生の履歴書を書くことができますか？ 親子であっても、意外と知らないことだらけの場合が多いのです。残された子供たちの相続税の申告に履歴書が必要だということを考えたら、お元気なときに簡単な「自分史」か「生涯年表」をまとめておくことも、大切な相続対策と言えるのではないのでしょうか？ 何から何まで一切合切を10カ月という期限内でやるわけですから、ぜひ実行してください。最近では、専用のノートも市販されています。

※お元気なうちに書き込んでおいてください。

被相続人の略歴等

被相続人の氏名

出身地	都・道・府・県		市・区・町・村	
最終学歴	明治・大正・昭和 年 月 日		卒業・中退	
職歴等 (直前↓旧)	年 月 日	職業(勤務先)・地位(役職等)		
	平成 年 月 日			
	昭和 年 月 日			
	平成 年 月 日			
	昭和 年 月 日			
賞罰等	平成 年 月 日			
	昭和 年 月 日			
住所の移転状況	前住所			
	年 月 ~ 年 月			
	前々住所			
年 月 ~ 年 月				
上記以前の住所				
年 月 ~ 年 月				
趣味				
入院期間	年 月 日 ~ 年 月 日	病名		病院名
	年 月 日 ~ 年 月 日	病名		病院名
死亡原因			死亡場所	

※上記につきましては、分かる範囲で記載してください。

(これは参考例で、税務署によって記載項目が異なります)